

\*\*\*\*\*

# 「核兵器のない世界へ」 NPT再検討会議にむけて ニュース

〒852-8107 長崎市浜口町6-5 木下ビル Eメール:nagasaki65@forest.ocn.ne.jp  
電話・095・844・0705 FAX・095・844・0728 発行者 片山明吉

\*\*\*\*\*

2009年3・1ピキニデー集会在2月27日～3月1日静岡市と焼津市でひらかれました。今年は、原水協集会・ピキニデー集会とも参加者が多く、2010年NPT再検討会議に向けた活動の決起の集会となりました。

長崎からは民医連2名、市従組1名、県原水協事務局1名が参加しました。

ピキニデー集会は、原水爆禁止運動の契機となったピキニ事件を学ぶとともに、各地の教訓を学びあい8月の世界大会をめざす活動の運動のスタートとなる全国決起の集会でもあります。各県の代表団数を見て近年最小となった長崎県代表団、スタートの立ち遅れを自戒するものとなりました。



## 日本原水協集会



2月28日午後1時から日本原水協全体集会在グランシップでひらかれました。基調報告をおこなった高草木事務局長は、NPT再検討会議までの14ヶ月間のスタートとしたい前置きして、核兵器廃絶の運動が地球的うねりとなっているとして、NATOの変化、オバマ大統領の誕生、イギリス、ドイツなど元政府高官のうごき、それに比し日本政府の情けない態度を告発、2010年核兵器廃絶の合意を勝ち取ることをよびかけ **新署名1200万の達成、被爆者援護・連帯活動、憲法9**

**条と非核三原則を一体として、非核日本宣言への賛同首長、議会決議のさらなる前進、平和行進から世界大会、そして2010年NPT再検討会議にむけた運動への決起をよびかけました。**

海外代表の発言では、広島・長崎・ピキニ事件を風化させない日本の取り組みに感謝する(アメリカ代表)の発言が印象に残りました。草の根運動での発言では、「いま、情勢は大きく変わっている。＜署名をもってニューヨークへ行く＞との呼びかけには、多くの賛同がある」と遺言状をおくって署名協力をお願いしている活動(愛知)。「核兵器廃絶は国民的願い。相手を選ばず全ての人々によびかけていると、150団体の訪問と257名の個人、過半数の自治体を訪問した経験」(徳島)や、3・1ピキニデーまでに31筆署名達成を全会員によびかけ、2000筆近い署名を集めた(新婦人八王子支部)など、涙・

